

## サル近接警戒システム＝猿人善快 v 3＝ 基本仕様及び設置姿

### 独立電源（DC 12V）モデル

#### 【受信機能】

受信対応周波数範囲：142.94MHz～142.98MHzの5CH

受信対応電波形式：F2D：MSK 1，200bps

受信感度：-120dBm SINAD=12dB

アンテナ入力：インピーダンス50Ω BNCコネクタ

#### 【通報機能】

発信波からIDを識別することで相手を判定し、以下の通報を行う機能を有す

警報音： 発信器IDを検知した時点で発報  
秒間を1～10回まで設定（設定時間後からは無音）

回転灯： 警報音動作に連動 その後は、連続受信中継続して点灯  
閾値時間以上、発信波を検知ができなくなった時点で、消灯

Mail通知：警報発報のタイミングで、接近を通知  
回転灯消灯のタイミングで、離反を通知

※送信できるMailアドレス先は、PCmail規格に準拠

ftp送信： Mail通知と同じタイミングでデータをサーバーに転送

※Mail通知／ftp送信の利用には、ネットワーク接続環境が別途必要

#### 【記録機能】

受信データ（履歴）を、年毎のホルダ内に、月毎のcsvファイル型式で保存  
USBメモリ、またはネットワーク経由で、取り出してExcel等で加工・  
管理することが可能

#### 【その他】

雷サージ対策： 電源系保護に保護回路搭載のチャージコントローラを内蔵  
アンテナ用同軸アレスタを内蔵

アラーム音量調整：消音／小／大

警報制御タイマ： 発報時間帯を設定することが可能（24hバックアップ付）  
Mail通知、ftp送信には影響しない

自己診断機能： 受信装置の異常を回転灯の連続点灯により通知

空中線： 標準は、高利得・無指向性型  
設置ロケーションや目的により選択可能

#### 【消費電力】

無信号時（待ち受け受信時） 最大約3W

作動時 最大約35W

#### 【動作温度】

-10℃～55℃（連続通電の場合、-20℃～55℃）

#### 【独立電源】

日本平均の日照時間で、1日あたり稼働（検知／警報）2時間という負荷計算で、  
不日照14日間に耐える電源容量を確保

高緯度あるいは山間地（谷間）など日照条件が悪い、あるいは稼働（検知／警報）時間が想定の日あたり2時間を超える場合は、設計時間より短くなります。

## 【形状】

### 本体

屋外用プラボックス（OP20-45）へ必要な機器を収納した一体構造  
寸法：400（横）×500（縦）×200（奥）  
上記本体とバッテリー2個を金属キャビネット（OR25-69）に収納  
寸法：600（横）×900（縦）×250（奥）  
重量：約90Kg  
取付金具は別途（施工／柱に合わせて、別途用意下さい）

### ソーラー・パネル

84W（17.4V 4.83A） 国産  
寸法：1200（横）×530（縦）×35（高） 8.5Kg

### ソーラー・パネル架台

上記パネル専用（仰角45°）  
検知用空中線取付サブポール付き  
φ89～127柱に対応（取付Uボルト添付）  
重量：約21Kg（サブポールを含む）  
耐久性の高い焼き付け塗装に、金具類は全てSUSを採用

### バッテリー

12V 80Ah 2個（計160Ah）  
航空機仕様クラス  
完全密閉10年間メンテナンスフリー  
重量：24Kg（1個）

### トランペットスピーカー（外付け）

120φ 高音圧型

### 標準空中線（標準）

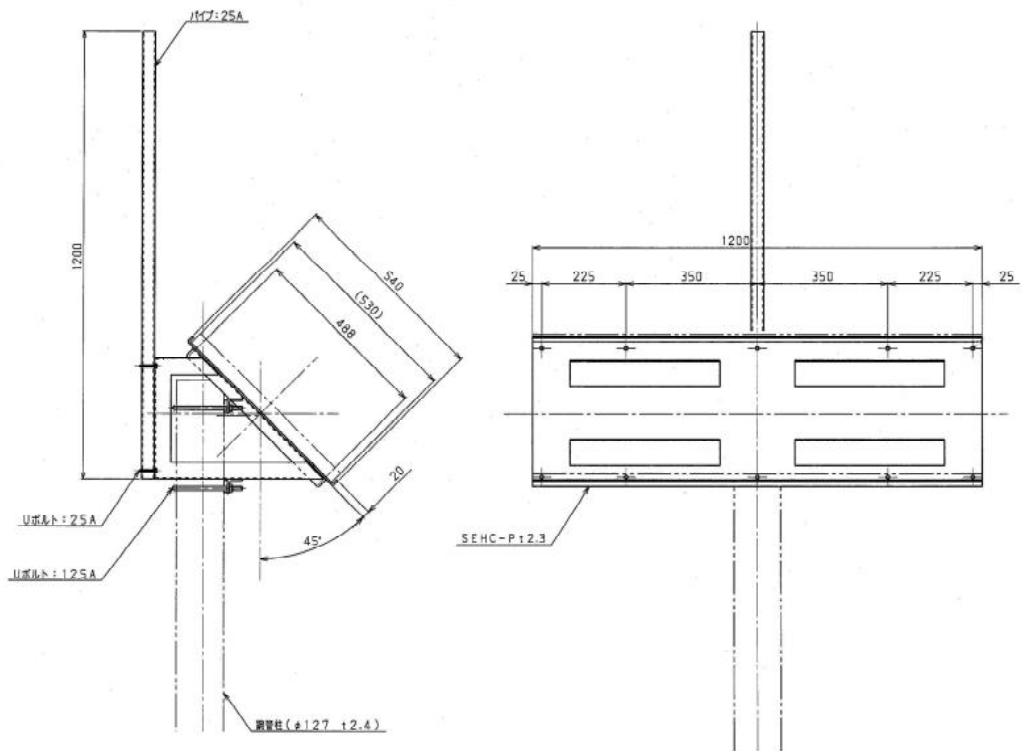
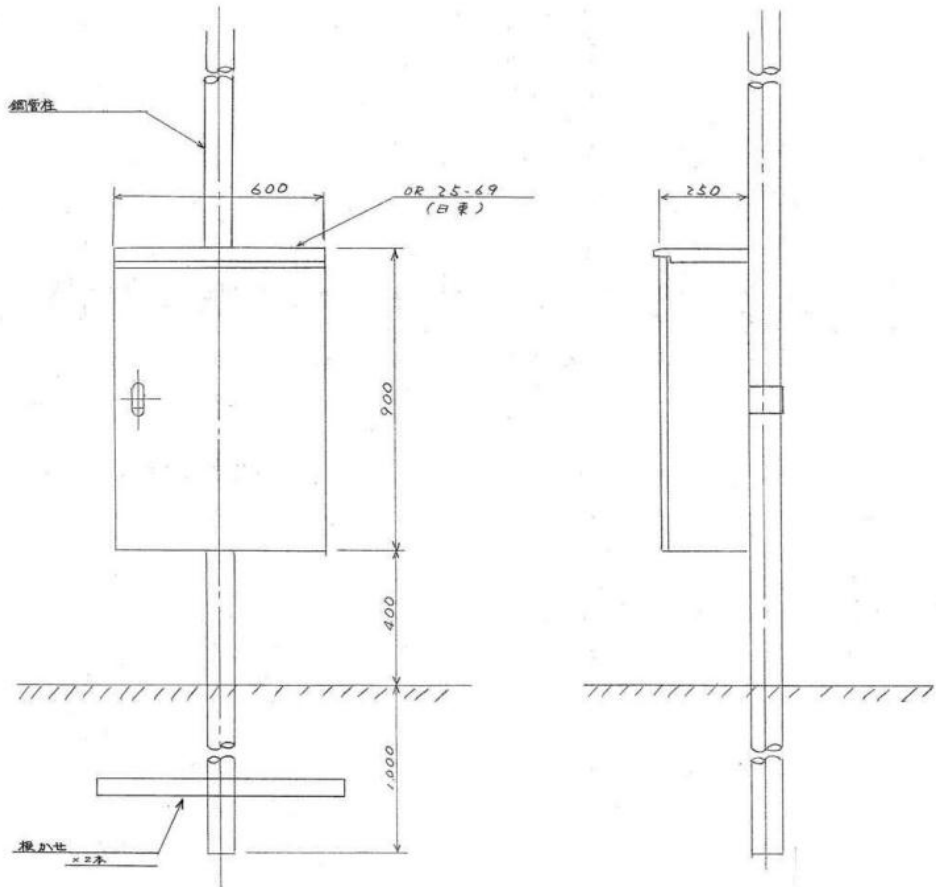
全長1.78m  
重量2Kg  
同軸ケーブル 6m付属（ご希望長を用意します）  
30～60φパイプに取付可能な金具を添付

### 回転灯（黄色）

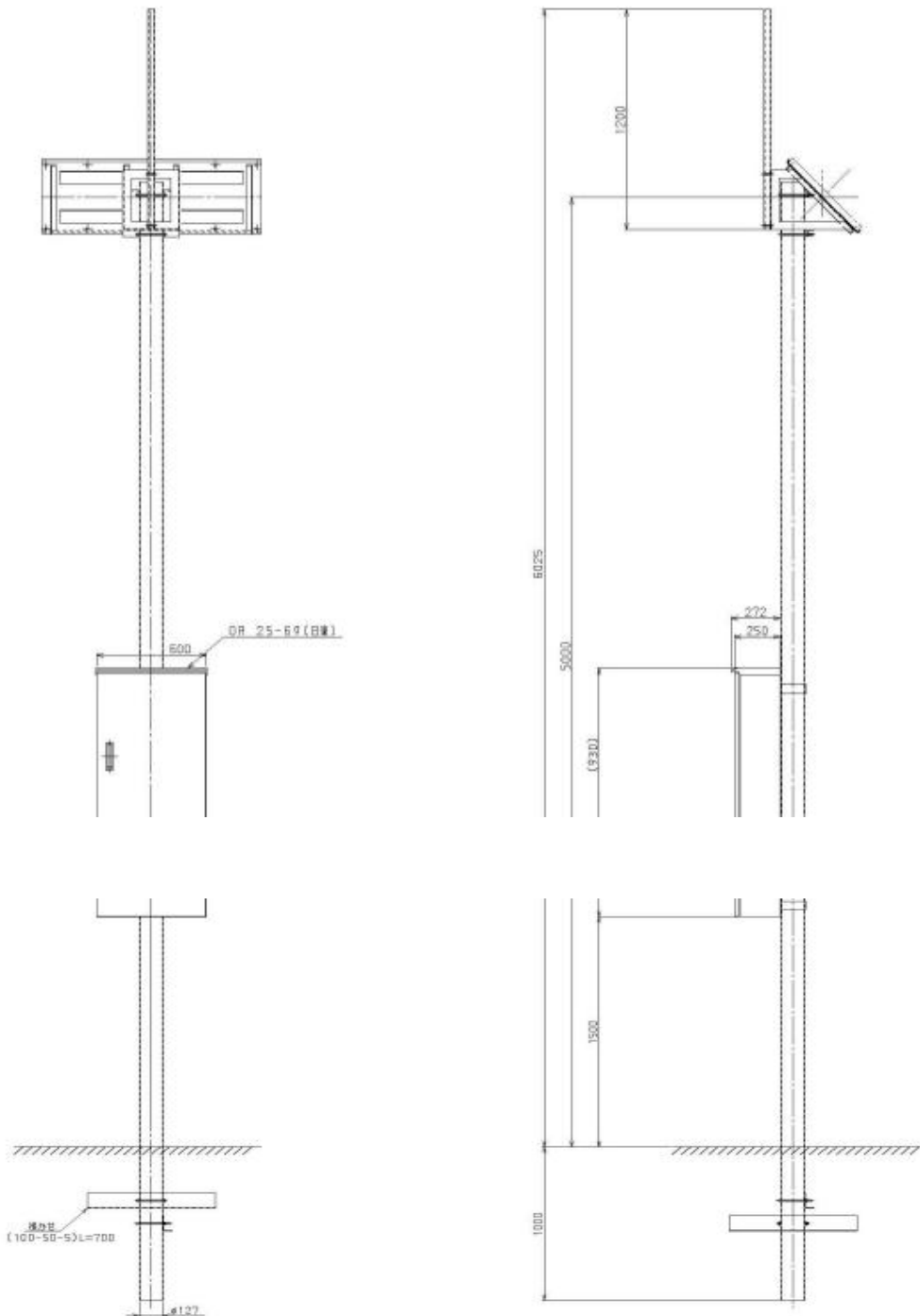
187φ35W（DC12V）  
30～60φパイプに取付可能な金具を添付

【設置姿関係情報】

φ89柱：積雪の少ない盤の底～G1 3～400mm程度の地域用



φ127柱 盤の底～GL 1500mm 積雪が多い地域用  
ソーラーパネル／架台は、φ89柱と同じ  
地盤にあった適切な基礎工事が必要



ここでは、設置姿についてある程度具体的にご紹介しています。  
施工についての詳細が必要な方は、別資料『施工についての補足』を確認下さい。